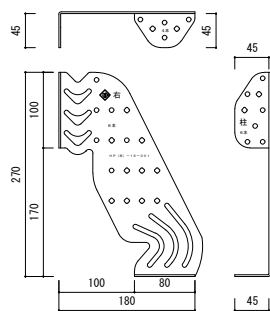
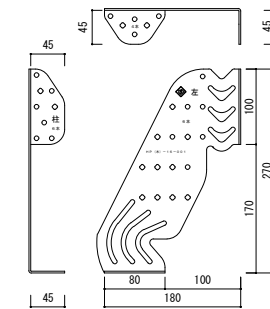


1. 構成部材・寸法

1-1 プレスターZ600 右用

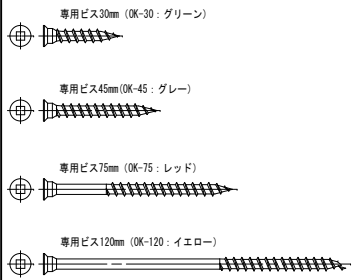


1-2 プレスターZ600 左用



材質: JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板 板厚2.3mm
表面処理: Z27 以上

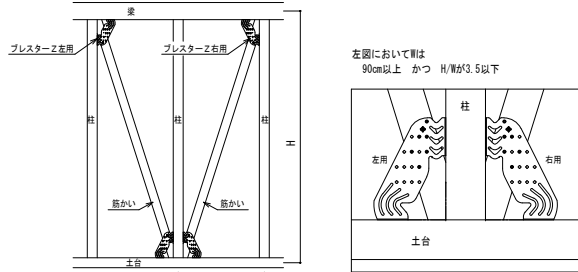
1-3 専用ビス



材質: JIS G 3507 冷間圧延炭素鋼線材
表面処理: 高耐食性クロムフリー処理

2. 工法概要

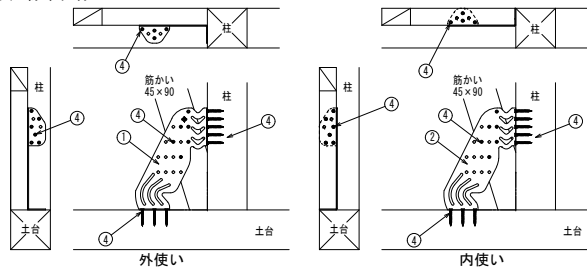
2-1 筋かい耐力壁



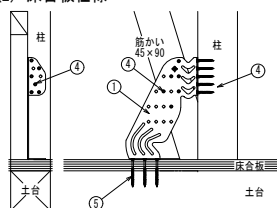
左図においてHは90cm以上かつH/Wが3.5以下

2-2 プレスターZ600 取付け図

(1) 標準仕様

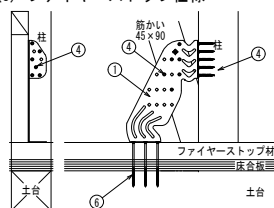


(2) 床合板仕様



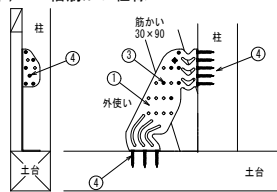
※ 床合板は厚さ30mm以下

(3) ファイヤーストップ仕様



※ 床合板とファイヤーストップ材の厚さの合計は75mm以下

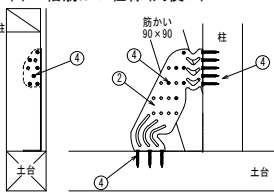
(4) 1.5倍筋かい仕様



- ① プレスターZ600左用
- ② プレスターZ600右用
- ③ 専用ビス 30mm (グリーン)
- ④ 専用ビス 45mm (グレー)
- ⑤ 専用ビス 75mm (レッド)
- ⑥ 専用ビス 120mm (イエロー)

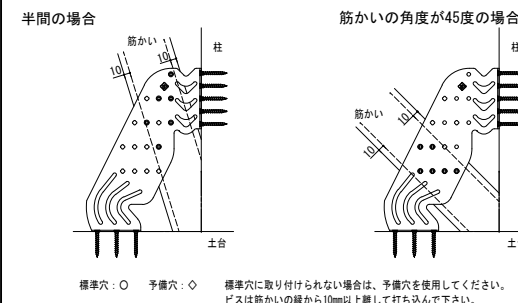
- ビスの本数
柱: 6本
横架材: 4本
筋かい: 6本

(5) 3倍筋かい仕様 (内使い)



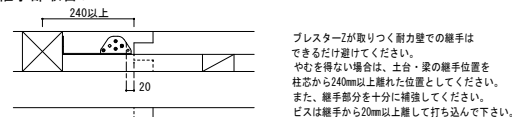
3. 計画時の留意事項

3-1 筋かいビスの打ち込み例



標準穴: ○ 予備穴: ◇ 標準穴に打ち付けられない場合は、予備穴を使用してください。ビスは筋かいの縁から10mm以上離して打ち込んで下さい。

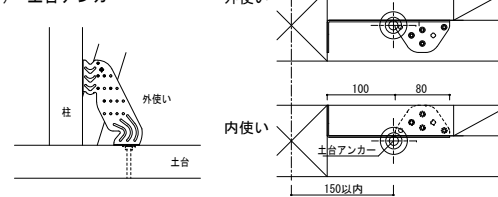
3-2 継手部取合い



プレスターZ600が取りつく耐力壁での継手はできるだけ避けてください。やむを得ない場合は、土台・梁の継手位置を柱芯から240mm以上離れた位置としてください。また、継手部分を十分に補強してください。ビスは継手から20mm以上離して打ち込んで下さい。

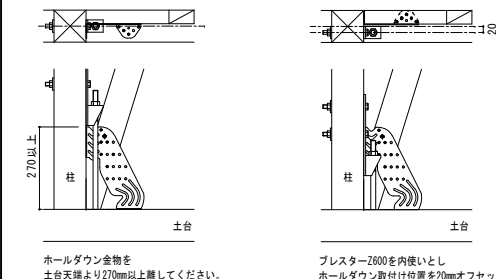
3-3 土台アンカー・ホールダウン金物との取合い

(1) 土台アンカー



床合板用座付ナット(φ45mm程度)を使用してください。ビスは予備穴も使い、所定本数打ってください。プレスターZ600の内使い・外使い どちらでも取り付けできます。

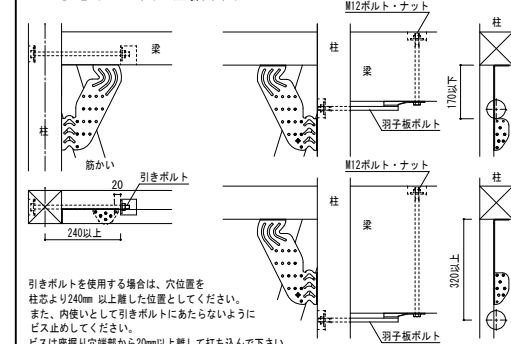
(2) ホールダウン



ホールダウン金物を土台天端より270mm以上離してください。

プレスターZ600を内使いとし、ホールダウン取付け位置を20mmオフセットしてください。

3-4 引きボルト穴・座掘り穴



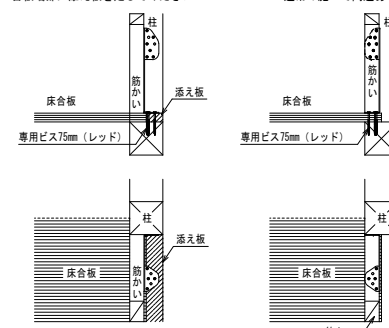
引きボルトを使用する場合は、穴位置を柱芯より240mm以上離れた位置としてください。また、内使いとして引きボルトにあたらないようにビス止めてください。ビスは座掘り穴縁部から20mm以上離して打ち込んで下さい。

取付部の座掘りは避けてください。ビスは予備穴も使い、所定本数打ってください。

4. 施工時の留意事項

4-1 床合板との取合い

- プレスターZ600を外使いの場合
 - ・合板端部に添え板を足してください
- プレスターZ600を内使いの場合
 - ・通常の施工で問題ありません。



添え板により合板厚と同レベルに合わせ専用ビス75mm(レッド)を用いて取り付けてください。

5. その他

本紙は、「平成12年建設省告示 第1460号」その他関連告示、建築基準法、建築基準法施行令に準拠しています。

本紙に記載のない事項については、以下に示す資料を参照の上適宜ご検討ください。
2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書(工学図書株式会社)
木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2017年版)(財団法人 日本住宅木材技術センター)
木質構造設計規準・解説(社団法人 日本建築学会)
フラット35対応 木造住宅工事仕様書(住宅金融支援機構)
木造住宅の耐震診断と補強方法(2012年改訂版)(一般財団法人 日本建築防協会)

※記載の内容は予告なく変更することがあります。